

「みんなでつくろう 市民トーク」開催結果（片浜地区）

1 日時等

- (1) 日 時 令和元年7月23日（火） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 片浜コミュニティ防災センター
- (3) 内 容 市長による市政情報、地区が希望する説明、質問表、意見交換
- (4) 参加人数 47人



2 地区の希望する市政内容について説明（19:53-20:05）

(1) 津波避難地建設要望

津波避難地、片浜1号から6号まで完成しましたが、片浜区内（久保柄・堀切地区）では、民家の庭や山の中腹といった所が避難地になっていて、実際に災害が起きた時に使用できるのか心配であり、住民の皆さんからも「造ってほしい」との要望が多く出ています。

また堀切地区では、150号線下にも数件家があり、山の避難地までには高齢者の足では10分以上かかってしまいますので、堀切地区には避難タワーの設置をお願いいたします。

【回答：杉本市長】

高齢者や要介護者にとって少し離れたところは厳しいところがあるかもしれませんが、これは担当も把握しています。避難タワーを造るという話もありますが、道路をスムーズに行けるようにしたり、民間の高い建物を避難地にする、地域住民の皆様が互いに支援し合うなかで避難ができないか等、地域の防災担当と防災課・建設課の職員も含めてさらなる安心安全を高めるための話し合いを積極的に持ちたいと思います。

その中で必要な対策・施策が整えば、できることからやっっていこうと話していますので、これから相談の場を設けていきたいと思っています。

【再質問】

避難地の場合は2千万円から3千万円くらいでできるが、避難タワーを造ると1億数千円と、かなり大きなお金がかかります。もっとお金のかからない方法で何かないかと担当職員に話したところ、シェルターがありました。放射能防護施設のシェルターではなくて、災害用のシェルターです。5、6人乗りで、1つあれば国道150号線より海側の方が助かるのではないかと。そうしたことも検討していただければありがたいと思います。

【回答：杉本市長】

対策として、どうしても救いきれないという所に関しては、効果的だと思います。現在、御前崎港の中で働く人たちのためにシェルターがあり、20数人が乗れるようになっています。価格も今言ったものよりもっと安くあるかもしれませんので、そこも含めて地域の皆さんと検討させていただきたいと思います。

(2) 海岸線砂の撤去作業について

台風が来るたびに、河川出口に砂が溜まり、その都度建設課に連絡、建設課は現地を点検し業者に連絡。このようなことを何年も繰り返している。一度、海岸管理者、牧之原市、隣地農地者、片浜区会4者にて協議会を開き、現状、今後についての話し合いを持ちたいがいかがか。

【回答：杉本市長】

海へ直接河川が出て行くということで、準用河川だけでなく、坂口谷川や勝間田川などの2級河川も河口閉塞します。坂口谷川や勝間田川は導流堤が出ています。砂がまわってくる方向に対して導流堤を入れて砂が詰まらないようにするという対策は、効果があると思っています。

いろいろな調査研究が必要ですし、いたずらにやって無駄な投資になってしまっただけではいけません。提案のとおり4者による協議会等で、実情を県の海岸管理者にも見ていただき、市・地域の皆さんと一体となって対策を検討し、調査事業を始めて、効果があることからハード整備に移っていくことが必要だと思います。ご提案をいただきましたので、早急に立ち上げができるように担当課・担当部と話をしてお話ししたいと思います。

3 個人からの質問票による意見・質問 (20:05-20:30)

(1) 寺川の機能確認、治水措置のお願い

坂井地区の海上山釣徳寺は寺川沿いに建てられています。お寺は旧片浜駐在所とともに片浜地区まちづくり活動の「地（智）の拠点」として、多方面に機

能しています。

またお寺は、非常時には地域住民の緊急避難場所や避難所として活用が予定される施設です。そうしたことから、土砂災害警戒区域内にあるお寺や近隣住民の安全確保のため、排水の要となる寺川の機能確認と、必要に応じた浚渫等の措置をお願いします。

【回答：杉本市長】

釣徳寺は小高い所にあり、いざという時には避難の拠点になると思います。現在も地域づくりの活動拠点として賑わっています。河川の浚渫等につきましては、毎年実施している河川パトロールの結果や地元要望も踏まえ、緊急性等に基づき実施をさせていただいている。

また、河口部に設置された水門につきましては、県の管理となっておりますが、定期的な点検により常に正常に稼働するよう管理がされております。心配な状況がありましたら建設管理課に連絡をいただければと思います。

(2) 特急バスの停車について

特急静岡相良線の停留所を片浜地区に設置できないか。静岡に行くためには、徒歩では30分以上かかってしまうため、駐車場を借りるなどしてバスを利用しなければなりません。以前から要望は上げているとは思いますが。市から事業者にも、片浜に停留所を作るようお願いしてもらえないでしょうか。

【回答：杉本市長】

片浜地区の皆さんからこうした要望があるということは承知しています。過去にしずてつジャストラインに対し、片浜のバス停新設について打診したことがあります。人気路線である静岡相良線については、利用者の皆さんのスピード感と利便性を重視し、なるべく停留所を作りたくないということがしずてつジャストラインの考え方と聞いています

片浜には藤枝相良線も通っているので、藤枝相良線で静波海岸まで行き乗り換えることも一つの方法です。しかし朝早くから夜遅くまで運行される静岡相良線には、日中以外は乗り継ぎができない状況もあります。

こうした対策として、拠点への無料駐車場の設置を考えています。たとえば静波のバス停や、相良営業所に無料駐車場を造ったり、榛原総合病院にもたくさんの駐車場が空いています。登録制のパークアンドライドをやったらどうかと考えています。

今、静波1号幹線については、「さぎんか」の所でくの字に曲がっていますが、地権者の了解をほぼいただき、2・3年の間に整備ができるかもしれないというところまで用地交渉が進んでいます。そこができれば静波のバス停も出入りがよくなりますし、土地の再整備も可能となります。民間の空き地もあります。

そうしたことも含めて、しずてつジャストラインへの停留所の設置要望を繰り返し実施したいと思っています。

(3) 片小ワンラボ駐車場について

片浜小学校の運営についてお聞きします。

今グラウンドが駐車場になっています。出入りする車の走行速度も速く、砂利が表に出てきていて、道路に穴も開くようになりました。また騒音もあるため、何とかしていただきたい。

また先ほど簡易宿泊施設のことを初めて聞きましたが、宿泊者の管理などはどうなるのか。全く知らない人が夜間にウロウロされても困ります。

【回答：杉本市長】

1周年記念の際にたくさんお客さんが来てくれましたが、やはり駐車場については、舗装していないことと雨が降ったということもあり、ドボドボでだいぶ苦労しました。グラウンドに入る所の道路も荒れているということですから、担当とも話をして早急に整備をさせていただきたいと思います。

宿泊をやるということであれば、夜間は管理者がいるのが当たり前だと思います。宿泊時の対応について我々もしっかり把握し、管理、指示をしていきます。地域の皆さんのご意見を反映した中で進めていきたいと思いますので、またお気づきの点は、ご指摘をいただければと思います。

(4) 「海岸線砂の撤去作業について」の質疑に対する質問

私は久保柄に住んでいます。片浜には天井川が3つあり、山から流れて来る分には良いですが、田んぼや生活排水などは、川が狭かったり河口部分が開かない限りは畑に流出してしまいます。150号線より下の堤防のすぐ下にある畑は大雨が降ると水没してしまうため、大根などを植えて間もないころはダメになってしまい、もう一度植え直すということが何度もあります。

市でも川の堤防の畑側を対策してくれていますが、一昨年はちょうど大根の値が高い時に、ある方の畑にユンボが入って大根を踏みつぶし、作業をしていました。時期的に何時がいいのかはよく分かりませんが、松林の中を上がって砂を海に捨ててくるという、時間・能率・コスト的にも余分な費用をかけているように感じました。砂を乗せている作業車が通る間、ユンボは待っています。ある方が聞いた話によると、作業を一通りするとだいたい30万円の費用が掛かるそうです。

1回30万円というお話が高いか安いかわかりません。しかしお茶などは基幹作物で、国でも県でも補助金が出て手厚いかなと思います。先ほどの話の中にあつた静波の改植のところ茶畑の基盤整備事業は、6町歩の土地に国・県・市で2億円くらいかけています。それが10人くらいの担い手で分けられて、や

っていただくことになると思います。

片浜の海の白畑は、大根を作る人もいるし、イチゴを作る人もいるし、冬場はユリを作ったりしています。今だからこそお茶は低迷していますが、100万円、1,000万円単位で売り上げを出す方もいます。生活の中ではとても大事な畑です。しかし2億円出してくれる事業もあれば、1回ユンボで浚って30万円という事業もある。もう少し下々に税金で助けていただけたらいいなと思います。

こんな畑ですが、税金を払えるほど、潤う年もあります。何人かで話し合われるというのは有難いことですが、いつどうなるか分からない。だんだん秋に向かって大根を蒔いたり、ユリを植えたりすることが始まっていきますので、早めに対応していただけたらと思います。

【回答：杉本市長】

先ほど区長から提案があった協議会という形で、恒久的な時間をかけてやらなければいけない対策は別にやらないといけないと思います。

しかし大根が水に浸かって腐ってしまうというような被害もあります。そういった緊急の場面で、原因と対策は担当が分かっていると思いますので、今言うように大根を踏みつけていかなければ本当にできないのか、あるいはもう少し効率的なやり方がないのか、私も検討をさせてみたいと思います。

お茶だから出すとか、そうでないから出さないということではなく、何であろうが風水害の対策としてやらなければいけないと思っていますので、その応急処置のやり方も含めて早急に検討させていただきたいと思います。内容についてはよく理解しました。

(5) 国道の側溝清掃について

150号線沿いの側溝に砂や泥が溜まり、地域の側溝清掃で対応しているが、国道沿いにコーンを置いて作業することは大変危険であり、地域でやるには無理がある。県や国へお願いしたい。

【回答：杉本市長】

片浜区内の国道150号は、交通量も多く、また歩道がない区間がありますので、地域での側溝清掃は危険です。本来ならば、コーンを置くだけでなく、交通整理員もつけてやらないと危険です。地域の皆さんにやっていただく場所ではないと思います。ご提案のとおり、管理者である島田土木事務所に市からお話をさせていただき、県でやっていただくように要望させていただきたいと思います。また詳細の場所などを建設管理課長にお話しきかせていただき、早急に土木に要望させていただきたいと思います。

道路管理者である静岡県に依頼しますので、泥のつまり、水の溢れ等の異変

がありましたら、建設管理課まで連絡をお願いします。

(6) 河川浚渫について

河川の浚渫の話がありました。私もユンボを一度出すと20～30万円かかると聞いています。30万円が1年に5、6回もあつたら、かなり大きな金額ですので、そのお金を片浜に落としてほしいと思いました。片浜地区内には個人でやっている業者もあります。昔は大鐘工務店があつて、言えばすぐに来てくれました。今は役所が間に入り、時間とお金がかかっているので、そこをもう少し端的に、地元でやっていただければありがたいです。

【回答：杉本市長】

災害の応急復旧や大雨の時などを含め、市内で多くの現場が出たときに、それぞれの業者を頼んでいると時間や手間がかかるということで、建友会と災害時の協定を結び、建友会からそれぞれ一番近い所に頼んで、市内業者を派遣してもらおうようにしています。

ご提案のように、地域の方が一番現場を分かっていますので、建友会に入っている入っていないに関わらず、効率的で安価にあがればいいので、重機を持っている所があるのならば、そこも含めていざという時にはお手伝いいただけるか、検討して区に返答させていただきます。